

千年の森便り No.214

2021.06.24

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 坂本文雄 編集 真鍋昌義

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

6月20(日) 曇り後晴

6月20日の活動日に参加したのは秋元、鶴沢、大原、久我、坂本、成沢、福島、村野の8名でした。参加が少なかったのはコロナウイルスのワクチン接種日と重なって参加できない人、前日からの雨が朝まで残って、出鼻をくじかれた人があった為と思われます。



参加は少数精鋭の8名でした

雨上がりの空は青く

島の入口に集合した時間には雨も上がって、水分をたっぷり含んだ緑の濃さが目に沁みだ。鹿調査に必要な人数もどうか確保できましたので、予定の活動はすべてこなせました。

昼食の頃には青空が広がって白い雲が輝き、朝と同じ日とは思えないとか、上層の雲と低い雲が逆方向に流れているのが不思議だとか、面白いだとか男同士の食事に似合わないロマンティックな話題もありました。折しもこの日は父の日、お父さんたちは祝ってもらえたでしょうか。(坂本)

〇ニホンジカ生息状況調査

お天気の回復が予報よりも遅くなり、やっと雨があがった頃に調査をスタートできました。吊り橋の手前で8人の参加者で7コースを分担し10:05に一齐に踏査を始めました。今回、雨あがりということもあり、急な斜面を上り下りする1コースは尾根上から見下ろして確認する方法をとりました。調査時間は約30分、結果は全部で5頭を目撃というこれまでの最大記録頭数と同じ目撃数となりました。

1頭は今年生まれと思われる小鹿で、3コースの坂本さんが禁断の岬南側で10:19に目撃、残りの4頭(メス)は1コースで福島が10:14に目撃しました。この4頭は祠山手前の島の北岸を東に移動し、その後、湖に飛び込みました。

今回は久しぶりに目撃の多い調査となりました。ご参加のみなさまお疲れさまでした。(福島)

○子ジカとの出逢い

私が担当した3コースの祠山近くで右から左へ小走りに駆け抜けた一頭の小鹿を見ました。ポキッと枯れ枝を踏んだ時の音がしたので、その方を見て気付いたのです。犬のシェパード程の大きさでしたから今年生まれたばかりの子供だと思います。バンビのような斑点は薄暗くて確認できませんでした。

子供1頭だけ単独で行動するのは不思議と思いましたが、福島さんたちは4頭の群れを見たそうですから、その群れに合流できずに別方向に逃げたものと思います。(坂本)

○6月の花と実

コナラ伐採地は刈りだし作業後、日差しがたっぷりと地面まで達したようです。枯葉で覆われていた裸地は見当たらず、隙間なく草本が生えていました。実生のコナラ、アカマツはより健康的に見えました。クロモジ、コバノガマズミ、サルトリイバラは果実をつけ、ヤブムラサキは花を咲かせていました。草本類優先区域にはヒメヤブラン、オカトラノオが咲きヤマユリの蕾が大きくなっていました。また、リンゴドクガの幼虫が鮮やかな白い衣装をまとったようで目を引きました。白い毛針には如何にも毒がありそうに見えますが図鑑には幼虫、成虫共に無毒だとありました。



刈り出し後のコナラ伐採地



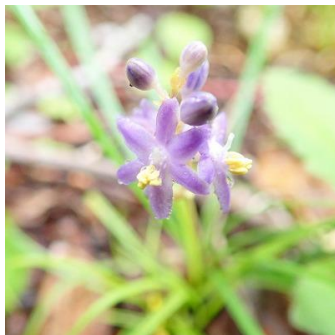
クロモジ



コバノガマズミ



ヤブムラサキ



ヒメヤブラン



オカトラノオ



ヤマユリ



リンゴドクガ

コナラ伐採地外では、ツチアケビが千年広場西側で4本、ヒメコマツ保護柵内で2本咲き蕾、花、果実が確認できました。イワガラミは地上7、8mの上空に咲いていました。その他に、花はヤマボウシ、テイカカズラ、ケイワタバコ、果実はエゴノキ、ヒガンナムシグサを確認することができました。(秋元)



ツチアケビ



イワガラミ



ヤマボウシ



ケイワタバコ

○崖下の植物調査

午後、晴れたので、この時期咲いている「ケイワタバコ」の花を探しに崖下へ挑戦！探索者は、秋元さん、福島さん、成沢の3名。令和元年の台風被害で尾根が崩れて名実ともに「禁断の岬」になった先端付近からのなかなかハードな崖下り。ロープや生木を掴みながら、なんとか崖を下り、目的のケイワタバコが自生する岩壁へ向かいました。崩落している不安定な場所なので、自分が湖へ落ちないように、安全な足場を確保しながらの緊張感のある探索でした。

そして、目指す岩壁には、見事、ケイワタバコの花が咲いていました！月に一度の活動で咲いているところを見られたのはラッキーでした。自生場所の足場は狭く、ここでも湖に落ちないように、緊張しながらの撮影会となりました。湖へ落ちることを想像したら足が震えてきちゃいました（笑）



ケイワタバコ自生地は崖(秋元)

ケイワタバコ(秋元)

ヤマユリ

アオキ

改めて周囲を見渡すと、鹿が好むと考えられているアオキが生えており、他にもヤマユリ、ハリギリなど様々な植物が生えていました。きっとここは急すぎて鹿も来ない場所なのでしょうね。花も見られたし、何より無事に帰還できてよかった～。陸地からのアクセスが難しい場所は、今後は水辺からアクセスするのがいいかも。そろそろボートの出番かな？（成沢）



オコトラノオ(坂本)

テイカカズラ(坂本)

ケガワタケ(坂本)

○センサーカメラ撮影記録（5月16日から6月20日までの36日間）

吊橋付近のカメラにはニホンザルが5月20日、21日、24日の3回記録されました。群れは子ザルが目立ち、母ザルの懷に子ザルが摺まったり母ザルの育児から卒業できたような子ザルが数頭確認できました。このカメラには5月25日23時ころニホンノウサギも記録されていました。吊橋を渡ってきたのでしょうか、フェンスの門扉をどのように越えたのか疑問です。

ホコラ山付近のカメラには、ニホンジカがこの周辺に4、5時間滞留していたような形跡がありました。
CAM1：ニホンザル4回、ニホンノウサギ1回、ニホンジカ8回、ニホンイタチ？4回、アライグマ3回、ハクビシン19回、トビ1回、不明種12回

CAM2：ニホンジカ21回、ハシブトガラス1回、不明種0回（秋元）

○ヒルの奇襲

いつも一番乗りの私です。今回はワクチン注射も後回しにしての参加でした。半袖、Gパン、素足が仇となり、打ち合わせ時に山ビルの沈黙の攻撃に晒される事となりました。Gパンの裾を上げると右足に3匹、左足に2匹の1センチほどの山ビルが美味しそうに吸血しているではありませんか。痒みはありませんでしたが、血だらけになりました。福島さんが忌避剤をかけてくれましたが、時すでに遅く手で取る羽目になりました。



ヒルも恐れず

ところが捕殺しようとして干切ろうが踏みつぶそうが効果がありません。なんと強靱な体でしょう。なんとか取り除きましたが、不安な鹿調査となりました。

島内に入ると不思議に全くヤマビルは来ませんでした。島の入口だけだったのです。ヤマビルのホットスポットが入口付近にあるのかもしれませんが。皆様お気をつけ下さいませ。（大原）

○ヤマビル被害

吊り橋前でのミーティングで大原さんのヤマビル被害を他人事として聞き流して鹿調査に島内に向かい、久しぶりの鹿の目撃情報もあり参加の意義を感じながら昼食後ヒルの話を思い出し、足元を確認してみると。島に入る前福島さんから塩水をかけてもらってあるし雨具のズボンもはいているし被害はなく安心して昼からの活動を終わりました。これで終わりと思いきや広場で手袋を取り橋を渡った所で簡単なミーティングの時、成沢さんに手に血が付いている事を指摘され見ると左手小指と薬指の間にべっとり着いていました。手袋には血の形跡はありませんでしたので広場からの帰りですらやられたと思います。ちょっとした油断でした。（鶴沢）

○電柵周辺と駐車場の草刈り

1回目の作業に当たって電柵下は鎌と植木鋏で手刈り、その他は刈り払い機で一気に刈る作戦としました。面倒な手刈りは大原さんと村野さんが申し出てくれたので両名にお願いしました。中腰の姿勢での作業ですから大変だったと思います。お疲れ様でした。



急斜面の草刈り



ヤマボウシの下で一休み

駐車スペースとして使用させてもらっている平地も同様に自分たちで管理しなければなりません。ここは久我さんが刈り払い機でやってくれました。

皆さんのご尽力でどうにか格好がつかまりましたので、地主さんや地元の人に面目が立ちます。（坂本）

○駐車場の草刈り

今回は朝から雨で、家内の体調も良くなかったので、単身参加でした。鹿の調査を終えたら、天気も回復して作業をするには最適でした。田圃脇の駐車場や通路には、雑草が良く伸びています。草刈り機で、約1時間程で刈り取りすることが出来ました。村野さんの応援もあり、高級車でも入れる？かと思えます。（久我哲也）



駐車場の草刈りは刈払い機で

○水辺の清掃

シカ調査のあと、入江のまわりとホテイ岬でゴミ拾いを行いました。ビンやペットボトル、発泡スチロールなどのゴミのほか、ボートのモーターに使うようなバッテリーも捨てられていました。大きすぎてパスしたゴミもありましたが目立つゴミはほとんど回収できました。ゴミの回収と同時に、現在は使っていない植物保護のための亀甲金網も回収しました。(福島)



ホテイ岬の回収ごみいっぱい

お知らせ

○次回活動日のお知らせ

次回の活動日は、オリンピックのために海の日が変更となった関係で **7月18日(日)** になります。光環境調査(夏)、ヒメコマツ周辺下刈り、状況を見てコナラ伐採地の刈り払いを行う予定です。暑さ厳しい時期となりますので、無理をせず熱中症対策を万全にしてご参加をお願いします。

いつものように9時30分に清和自然休養村(直売所)集合です。

台風の枝折れに加えてナラ枯れによる枯死木も増えていますのでヘルメットをお忘れなく。
